

静岡、鹿児島 測量設計業協会 災害時応援協定を締結

公益社団法人 鹿児島県測量設計業協会
一般社団法人 静岡県測量設計業協会



協定を締結し、握手を交わす静岡県測協の杉山博会長（中央左）と鹿児島測協の安永幸信会長（同右）
＝3日午後、県庁

県内事業所65社でつくる県測量設計業協会（杉山博会長）は3日、鹿児島県測量設計業協

会（安永幸信会長）と災害時応援協力協定を結んだ。他県協会との協定締結は、2014年7月の熊本県測量設計コンサルタンツ協会に次いで2例目。

協定内容は大規模災害発生時、一方の県が被災した場合に、求めに応じて測量・設計技術者の派遣などの支援を行う。本県側としては南海トラフ巨大地震などに備え、復旧作業に不可欠な技術者を確保するのが狙い。鹿児島県は同時被災のリスクが少なく、両県空港を結ぶ直行便もあることから協定締結先として有効と判断した。

県庁で同日開いた締結式には静岡県の村松篤交通基盤部長、鹿児島県の九万田伸一土木部次長が立ち会い、両県測協の会長が協定書に調印した。杉山会長は「災害時に迅速かつ効果的に応援できるよう平時より交流に努めたい」、安永会長は「九州域外での協定締結は初めて。技術の研さんに努める」と述べた。